

SB62

公正な移行に関する作業計画 Just Transition Work Programme (JTWP)



SB62報告会 2025年7月18日

ギャッチ・エバン
gach@kikonet.org



気候ネットワーク



公正な移行に関する作業計画

Just Transition Work Programme (JTWP)

United Arab Emirates Work Programme on Just Transition
(COP28 決定 FCCC/PA/CMA/2023/L.14、2023年12月13日)

目的

- 移行に伴う影響を緩和するために**エネルギー、社会経済、労働力**、その他の側面を含み、そのすべてが、**社会的保護**を含むものでなければならない
- 社会的対話、社会的保護、労働権**の承認に基づく
- 国際協力**を通じて、パリ協定の目標達成に向けた公正な移行の実現

範囲

- 権利とその義務を尊重する**：人権、持続可能な環境、健康、先住民、地域コミュニティ、移民、子供、障害者、脆弱な立場の人々、開発の権利、ジェンダー、世代間公平
- 公正な移行を促進するため、質の高い雇用の創出に加え、発展途上国に対し、**キャパシティ・ビルディング、気候資金、技術開発・移転を緊急に提供**し、公正な移行の道筋に関する**国際協力と支援を強化する**ことの重要性を強調する
- 資金と技術移転に関しては、LDCs (least developed countries、後発開発途上国) においては、**ニーズと状況を十分に考慮する**

COP29の結果とその後

- **COP29の結果**： COP29では共同議長の舵取りがうまくいかず、交渉するための時間も不足し、**合意には至らなかった**。2025年の作業に関する指針は決定されず、**SB62**で議論されることになった。
- **COP30議長の第3レター**：「以下の事項に**重点が置かれる**： (i) UAE-Belém作業計画における適応に関する世界全体の目標（GGA）の指標、(ii) GST成果の実施に関するUAE対話、および **(iii) UAE公正な移行に関する作業計画（JTWP）**。」
- SB62では、**新しい共同議長**が任命された（**シンガポールとイタリア**）
 - 市民社会と締約国から幅広い要望があった
 - UNFCCC事務局は、議長国ブラジルがJTWPを優先課題として位置付けていることを理解した
 - JTWPへの関心は著しく高まった（メーリングリストが定員に達した！）

市民社会による公正な移行のキャンペーン



- 非政府主体からなる団体 (UNFCCC Constituencies) の**共同キャンペーン**
- 環境、気候正義、先住民族、女性・ジェンダー、若者、労働組合、農家・農業の団体



SB62・COP30に向けた、市民社会からの要求

環境NGO、労働組合、若者団体、女性・ジェンダー団体

1. 世界の公正な移行のための「**Belém Action Mechanism (BAM)**」(具体的・実行可能な成果、取り組み、アウトプットができるためのメカニズム)
2. 公正な移行の**基本原則**を設定する
3. 公正な移行を**国家計画(NDCs、NAPs、長期開発計画)に統合**し、公正な移行の道筋に関する協議と共同設計のための正式な場を設立する(労働者、地域コミュニティ、市民社会を参画させる)
4. **主要分野**(化石燃料、再生可能エネルギー、重要鉱物、農業・食料システム、産業など)における公正な移行の**今後の取り組み**を策定する
5. **気候資金**に、公正な移行に関する政策も対象させる

SB62におけるJTWPの交渉

- 6月18日、19日、20日、21日、23日、24日、25日（数時間延長）
- 最初のステップとして、共同議長は初日に**交渉の枠組み**（重点分野と指針となる質問）を提示した：
 1. JTWP の背景・現状
 2. 3つの対話から浮かび上がった重要なメッセージ
 3. UNFCCC内のシナジー（相乗効果）
 4. 国連システム間および国連システム外のシナジー
 5. JTWPの運用化
 6. 公正な移行の道筋のための支援と国際協力
 7. 実行可能な成果に関する追加のガイダンス
- COP29の草案に基づいて交渉を開始した
- 6月23日に、締約国とオブザーバーが挙げた「対話の成果」と「提言」も盛り込んだ共同議長による**非公式ノート**が提示された
- **リアルタイムで草案の内容を議論し変更**を加え、6月25日に最終的な非公式ノートをSBI、SBSTA議長に提出した
- **非公式ノートをCOP30交渉の基礎とすることが決定された** (<https://unfccc.int/documents/648554>)

SB62におけるJTWPの交渉

- 当初、締約国（先進国も、発展途上国も）は**協力の姿勢を示した**
- **米国は交渉に参加していなかった**。過去の交渉では、米国は早期に発言し、様々な点に反対する姿勢を明確に示していた
- アジェンダ・ファイトの結果、貿易における一方的措置に関するテキストが、非公式ノートの括弧内（ブラケット）で追加された
- **非公式ノートの11g:** ボリビアとLMDCsの数か国とアラブグループは、**化石燃料からの脱却に関する文言の盛り込みに反対した**
 - 国家の事情を重視する原則を強調し、化石燃料からの脱却を基本的なエネルギー需要と結びつけることは、発展途上国の開発優先事項を無視するリスクがあると主張
 - 化石燃料からの脱却を削除するが、再生可能エネルギーの導入に関する言及は維持するオプションについて合意が成立した。しかし、その後ロシアが反対した
 - 最終的に、**3つのオプションに合意**：1) 元のテキスト、2) 化石燃料と再生可能エネルギーに関する言及を削除した短いテキスト、および 3) テキストなし

SB62におけるJTWPの交渉：日本の発言内容

おもな発言：

- 公正な移行の加速化を目的とした**野心的な成果を求める**
- 公正な移行は各国事情で異なるため、**各国の判断で決定**されるべき
- JTWPは、**知識とベストプラクティスの共有**が重要である
- JTWPが**第1回GSTの結果を統合し、1.5目標を強調**することを支持する
- JTWPで**国際協力を強化することに賛同**（過去の交渉で国内での公正な移行に重点を置いていた）。しかし、具体的な例としては、知識共有、技術移転、能力強化を挙げ、気候資金については言及しなかった
- 「**Toolbox**」を実行可能な成果物・アクションメカニズムとして追加することを提案した
- 11gへの追加変更（化石燃料からの脱却の削除など）は支持しなかった

さらに議論する必要があるとした点：

- JTWPの適切な「**実行可能な成果**」
- 公正な移行を**気候資金の対象**とすること（草案における資金に関する新しい提案には賛同しなかった）

SB62の結果

合意文章案（非公式ノート）

JTWPの今後の実施に関するオプション：

Option 1: 既存のモダリティを**改善**する

Option 2: **新たな**制度的枠組み [toolbox, guidance framework, global platform, technical assistance network, mechanism]

Option 3: 決定を2026年に**延期**する

SB62の結果

合意文章案（非公式ノート）の重点：

1. 国家の気候変動政策と戦略（**NDCs**、**NAPs**、**LT-LEDS**）で公正な移行の道筋を設定する
2. **国際協力**の重要性：キャパシティビルディング、気候資金、技術の開発・移転
3. **気候資金**の重要性：新規で追加的なグラントベースの、きわめて譲許的な資金を増加

SB62の結果

合意文章案（非公式ノート）の“原則”

- 社会的対話、労働権・社会保護、適切な労働
- **すべてのステークホルダーの参加**（公正な移行の影響を受ける労働者、非正規労働者、脆弱な状況にある人々、先住民族、地域コミュニティ、移民および国内避難民、アフリカ系の人々、子ども、若者、高齢者および障害のある人々）
- **人間を中心に置いた、ボトムアップ、社会全体のアプローチ**
- 教育制度と**スキル開発**の重要性（アップスキリング、リスキリングを含む）
- 中小企業も含む**民間セクターの参加**と**経済全体のアプローチ**（グリーン・ジョブと適切な雇用の創出に貢献する）
- * **すべての人々に対し、再生可能エネルギーの拡大を含むクリーンで持続可能なエネルギーへのアクセスを確保する。このような取り組みは、化石燃料からの脱却で、エネルギー安全保障の強化と、社会的・経済的な機会を大きくもたらす**
- **ジェンダーと人権に基づくアプローチ**：健康権、清潔で健康的で持続可能な環境権、先住民族、地域コミュニティ、移民、子ども、障害のある人、および脆弱な状況にある人々の権利、ならびにジェンダー平等、女性のエンパワーメント、および世代間の公平性を尊重する
- **地域主導の適応策と社会保護の強化**を通じた適応と気候変動レジリエンスの向上
- すべての**生態系と生物多様性の保護**を推進する

評価：市民社会の要求との比較

- 1. 世界の公正な移行のための「Belém Action Mechanism (BAM)」（具体的な取り組み・アウトプットができるためのメカニズム）**【*オプション】**
- 2. 公正な移行の**基本原則**を設定する
- 3. 公正な移行を**国家計画（NDCs、NAPs、長期開発計画）に統合**し、公正な移行の道筋に関する協議と共同設計のための正式な場を設立する（労働者、地域コミュニティ、市民社会を参画させる）
- ▲ 4. **主要分野**（化石燃料、再生可能エネルギー、重要鉱物、農業・食料システム、産業など）における公正な移行の**今後の取り組みを策定**する
- ▲ 5. **気候資金**に、公正な移行に関する政策も**対象させる**
- * 交渉中の提案や提出物を促進した

COP 30に向けて

- 市民社会・NGOはCOP30に向けて**公正な移行を中心にするキャンペーンを実施する**
- 議長国ブラジルは**公正な移行に関心が高く**（e.g. 2024年のG20サミット）、COP30の**主要な議題の一つ**となることが予想されている
- **可能な成果？**
 - 「**Belém Action Mechanism**」
 - 公正な移行の**基本原則**に関する合意
 - **気候資金**の中で、「公正な移行」のための資金のカテゴリー
 - **主要分野**（化石燃料、再生可能エネルギー、重要鉱物、農業・食料システム、産業など）における公正な移行の今後の取り組みを策定するよう合意する
- **第4回対話：9月1～2日（テーマ：エネルギー）**
- JTWPの有効性と効率性を評価し、**COP31(2026年)で継続を検討する**



COP 30に向けて：議長からのレター

- 「気候変動は、現代が直面する最大の課題の一つであり、これに対処するためには、持続可能な開発への進展を柱とし、国境を越えた構造的な不平等を是正するため、人類のすべての資源を動員することが不可欠です。同時に、**低炭素で気候変動に強靱な社会への公正な移行を促進する道筋を築くことが求められています。**」(第1レター)
- COP30で解決すべき未解決の問題がいくつかあります。特にGST成果の実施に関するUAE対話と**公正な移行に関する作業計画（JTWP）が挙げられます**... 公正な移行は、気候変動対策を持続可能な開発に結びつけ、国間および国内の構造的な不平等、特に性別、人種、民族に関する不平等を是正するために不可欠です。バクーで、締約国は**公正な移行を支援するための努力を倍増する必要がある**ことと、すべてのセクターとテーマ領域における取り組み、および横断的な取り組みを強化する必要性を認識しました...
(第3レター)
- 「UNFCCCの多国間協議において、**今年中に進展させる必要がある重要な課題の一つが公正な移行に関する作業計画です。**」(第3レター)

COP 30に向けて：議長の「アクション・アジェンダ」

「最も重要な点は、COP30アクション・アジェンダの下での取り組みは、**公正な移行と公平性の倫理的・科学的要請に導かれる必要があります。**これらの取り組みは、特定のグループ、国、地域が気候危機に対する脆弱性を悪化させる構造的な不平等を是正することを目指す必要があります。低炭素で気候変動に強靱な経済への移行に伴う利益とコストの均衡ある配分は、より公正で包摂的で安全な未来を築くことを可能にします。（第4レター）

- （３）エネルギーへのユニバーサルアクセスの確保
- （４）公正で秩序のある、公平な方法での化石燃料からの脱却
- （６）気候変動、生物多様性、砂漠化の解決策において自然と生態系の保全、保護、回復に向けた取り組み
- （８）土地の回復と持続可能な農業
- （９）よりレジリエントで、適応性があり、持続可能な食料システム
- （１０）すべての人にとって十分な食料と栄養への公平なアクセス
- （１３）レジリエントな都市開発、モビリティ、インフラ
- （１６）レジリエントな保険システムの促進
- （１７）飢餓や貧困撲滅における気候変動の影響の減少
- （１８）気候変動に取り組むための教育、能力開発、雇用創出
- （１９）文化、文化遺産と気候アクション

The 30 key objectives for COP30 are as follows:

I- Transitioning Energy, Industry, and Transport: (1) tripling renewables and doubling energy efficiency, (2) accelerating zero- and low-emission technologies in hard-to-abate sectors, (3) ensuring universal access to energy, and (4) transitioning away from fossil fuels, in a just, orderly and equitable manner.

II- Stewarding Forests, Oceans, and Biodiversity: (5) investments to halt and reverse deforestation and forest degradation, (6) efforts to conserve, protect and restore nature and ecosystems with solutions for climate, biodiversity and desertification, and (7) efforts to preserve and restore oceans and coastal ecosystems.

III- Transforming Agriculture and Food Systems: (8) land restoration and sustainable agriculture, (9) more resilient, adaptive, and sustainable food systems, and (10) equitable access to adequate food and nutrition for all.

IV- Building Resilience for Cities, Infrastructure and Water: (11) multilevel governance, (12) sustainable and resilient constructions and buildings, (13) resilient urban development, mobility, and infrastructure, (14) water management and (15) solid waste management.

V- Fostering Human and Social Development: (16) promoting resilient health systems, (17) reducing the effects of climate change on eradicating hunger and poverty, (18) education, capacity-building, and job creation to address climate change, (19) culture, cultural heritage, and climate action.

VI- Cross-cutting issues - Unleashing Enablers and Accelerators, including on Finance, Technology and Capacity Building: (20) climate and sustainable finance, mainstreaming climate in investments, and insurance, (21) finance for adaptation, (22) climate-integrated public procurement, (23) harmonization of carbon markets and carbon accounting standards, (24) climate and trade, (25) reduction of non-CO2 gases, (26) governance, state capacities and institutional strengthening for climate action, planning and preparedness, (27) Artificial Intelligence, Digital Public Infrastructure and digital technologies, (28) innovation, climate entrepreneurship and small and micro businesses, (29) bioeconomy and biotechnology, and (30) information integrity in climate change matters.



ありがとうございました！



gach@kikonet.org



気候ネットワーク

